



Polaris news

【北高ニュース NO.202204】

「SDGs カードゲーム」 国際連合地域センター (2022.5.23)

国際理解コースの3年生がSDGsカードゲームを体験しました。1年時からSDGsについて学んでいますが、カードゲームで疑似体験することで、新たな気づきがあり、SDGsに対する理解も深まりました。カードゲームでの振り返りをした後は、スナック菓子が温暖化につながっているという具体的な例から、いかに世界が繋がっているかを学びました。国際連合地域センターの講師の方の「世界はつながっている、そして私も起点」「一人の行動から世の中が変わっていることが多い」といった言葉から、自分たちの生活や行動を見直す機会にもなり、学びの多い2時間でした。



■生徒の感想より

- 自己利益だけを追求すると世界全体のバランスが崩れてしまうこと、皆で協力しなければ目標を達成できないということに、カードゲームを通して気づきました。
- 目先の利潤追求に伴う地球のリスクを知り、どれだけ自分たちが潤っても、暮らしていけないような地球の状況になってしまったら本末転倒だと感じることができました。
- 自分の身を犠牲にしてまで他人に得なことばかりをすると、「誰一人取り残さない」という定義が崩れてしまう。全ての人がwin-winな関係を築けるように取り引きをすることが大切だとわかりました。
- ゲームで行ったことを現実に置き換えて考えたとき、現状を知ることと自分の行動がどのように世界に影響を与えるかを考えることが大切だと思いました。
- 世界には、とても厳しい環境で生活している人が多いことを知ったので、どうしたらそういう人々を救えるのか考えていきたいです。